

トップランナー

～秋田県の貿易先進レポート～

平成19年2月まで毎月発行

vol.6 平成18年11月

バックナンバーはこちら↓

<http://www.a-trade.or.jp/toprun/toprun.html>



(社)秋田県貿易促進協会

「海外企業との新規取引は、必ず自分の目で見て、徹底的に要求するのが主義。」



ニツ井パネル(株)
鈴木稔 代表取締役社長

中国、ロシアから木材を輸入し、木造住宅用の集成材を製造、国内向けに販売する。コンテナ貨物取扱量は、県内でも最大級を誇り、業績を拡大し続けている。今年8月、「秋田沿海州航路誘致推進協議会」の会長に就任。ロシア航路開設を推進する第一人者として活躍している。

集成材は、乾燥させた木が幾層にも張り合わされている。1本1本木の性質は異なるが、それに左右されない優れた耐久性と、狂いの少なさを合わせ持つのが特徴。

住宅への集成材需要が高まることを予想していた鈴木社長は、工務店や設計事務所と提携し、さらに新工法を開発。快適な住宅需要が高まる中、業績を拡大している。

原料輸入

原料となる木材は、中国やロシアから直接輸入している。以前は北欧からの輸入が多かった。トラブル発生が多いロシアではあるが、それでも豊富な資源は魅力が多く、充分ありあるといえる。

秋田港の利用

平成7年、定期コンテナ便が秋田港に就航し、かなりのコスト低減につながった。昨年のコンテナ貨物取扱本数は1千7百本程度だが、今年は2千5百本程度を見込む。売上げも過去最高を更新する勢いである。

ネットワーク

貿易促進協会では、これまでロシア極東地域へ経済ミッションを派遣。木材加工現場や取引現場の視察に加え、木材輸入者等との商談機会を創出してきた。

鈴木社長は、現在そうしたネットワークを使い、本県内の同業者と定

期的に情報交換している。今後は、他社と合同で海外出張し、商談していく予定である。

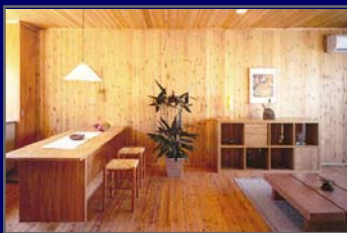
新たな商機

人望が厚く、今年8月に設立された「秋田沿海州航路誘致推進協議会」では会長に就任した。その設立総会では、「極東ロシアとの新航路開設に向け、官民挙げて取り組む」と力強く抱負を語っている。

環日本海経済への取り組みはそれだけではない。コンテナ急増で施設不足が深刻化している釜山港に、11年新港が建設される。「新港に工場を建てられれば、消費地へダイレクト輸送が可能になる。コスト削減につながり、新たな市場開拓になる。」と期待を寄せる。

年に5回は中国・ロシアに出張、商談を重ねる。新たな商機を見出し、積極果敢に取り組む姿勢は今後も変わりそうにない。

ニツ井パネル(株)



〒018-4211

北秋田市川井字横呑沢5-130

TEL: 0186-78-2132 FAX: 0186-78-4755

<http://www.futapa.com>